



## 卒業後も 本との出会いを忘れずに

3年生の皆さん、少し早いですが卒業おめでとうございます。3年間の図書貸出数が多かった、上位10名は下記の通りです。100冊以上借りた生徒には図書館多読賞が贈られます。今年度は1名が表彰されます。本を読むことで得たたくさんの知識は、きっとさまざまな場面で役に立つと思います。卒業してからも、本との出会いを大切にしてください。

### 3年間の図書貸出数ランキング

1	3年1組	日野あずさん	104冊
2	3年5組	松方伸里さん	63冊
3	3年5組	森春香さん	51冊
4	3年1組	麻生鈴乃さん	50冊
5	3年2組	小西崇史さん	49冊
6	3年1組	藤本彩希さん	45冊
7	3年2組	後藤千佳さん	42冊
8	3年2組	佐藤孝恒さん	40冊
9	3年1組	石崎潤さん	35冊
10	3年4組	白地みくさん	33冊



## 心やすらぐ図書館へ！

いつも変わらずお待ちしております。

右の表は4月から1月のクラス別図書貸出数のランキングです。見て分かるようにたくさん借りているクラスとあまり借りていないクラスの差がすごく大きいです。1、2年生は、これから春休みの特別貸出も行いますので、是非図書館に足をはこんでみて下さい。

	クラス	冊数
1	1年1組	299
2	3年5組	153
3	2年4組	134
4	3年1組	132
5	3年2組	130
6	2年1組	85
7	1年3組	75
7	3年4組	75
9	1年4組	71
10	3年3組	66
11	2年2組	54
12	1年2組	29
13	2年3組	12

### 図書委員おすすめ本



(光文社)



(双葉社)



(河出書房新社)

#### 『舟を編む』 三浦しをん著

この本はたくさんの人達の手によって1つの辞書がつくりあげられていく話です。辞書をつくることの大変さを知りながら、主人公達の関係の変化や色々な人の思いを読めて、じわじわとひきこまれていきます。辞書は重いから持って帰りたくない、ひくのはめんどくさいと思っている人、ぜひ読んでみませんか。(1-1梅木)

#### 『また、同じ夢を見ていた』 住野よる著

この本は、小学生の私が猫の彼女と、アバズレさんと呼んでいるお姉さん、南さんと呼んでいる高校生、1人暮らしのおばあさんのところへ行き、学校の授業発表のテーマである「幸せ」について考える話です。主人公の言葉がおもしろかったり、おどろくようなことがあり、おもしろいので、ぜひ読んでみて下さい。

(1-3川村)

#### 『走ル』 羽田圭介著

主人公は高校2年生、陸上部で部活に勤しむ普通の高校生。初めて乗ったロードレーサーのとりことなり、「路面がタイヤに吸い付いてる」その感覚を味わうことができ自転車で速く遠く走ルことに目覚めてしまうというお話です。(1-3井藤)



## おすすめの新着図書

### 『ヒーロー!』 白岩玄著

学校のいじめをなくすため、大仏のマスクをかぶり、休み時間ごとに、パフォーマンスショーをする新島英雄と、その演出担当の佐古鈴。二人のアイデアは一見、成功するかに見えた。だが無愛想な美少女転校生が新たないじめの標的になり、佐古の唯一の親友が、敵となって立ちはだかる…。



(河出書房新社)

### 『夜行』 森見登美彦著

旅先で出会う謎の連作絵画「夜行」。この10年、僕は誰ひとり彼女を忘れられなかった。彼女はまだ、あの夜の中にいる…。あなたも森見ワールドへ。



(小学館)

## 花言葉

知っていますか？



### うめ

紅梅…「忠実」

白梅…「気品」



日本では梅の花の形を好み、梅の家紋が数多く用いられて来ました。梅鉢、梅花、裏梅、重ね梅など、洗練された紋がそろっています。

『誕生花366の花言葉』(大泉書店)より

### 『四月になれば彼女は』 川村元気著

4月、はじめて付き合った彼女から手紙が届いた。そのとき僕は結婚を決めていた。愛しているのかわからない人と…。失った恋に翻弄される12カ月。胸をえぐられる、切なさが溢れだす。



(文藝春秋)

### 『天使は奇跡を希う』 七月隆文著

瀬戸内海にほど近い町、今治の高校に通う良史のクラスに、ある日、本物の天使が転校してきた。正体を知った良史は彼女、優花が再び天国に帰れるよう協力することに。恋と奇跡と、天使の嘘の物語。



(文藝春秋)

## 映画を読み 図書館へ



### 『君と100回目の恋 (映画ノバライズ)』 Chocolate Records原作 下川香苗著 (集英社)

7月31日、誕生日の夜に、葵海は幼馴染でバンド仲間の陸に気持ちを伝えられないままライブに臨み、失敗してしまう。落ち込む葵海は事故に遭い、目覚めた日はライブの一週間前だった。戸惑う葵海に、陸は自分が時間を戻せると説明し…。陸の深い想いを知った葵海に、再び7月31日が訪れる…。

2017年2月 映画化!



ちょっと一息

詩の世界へ

自分の感受性くらい

茨木のり子

ばさばさに乾いてゆく心を  
ひとのせいにはするな  
みずから水やりを怠っておいて

気難かしくなってきたのを  
友人のせいにはするな  
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを  
近親のせいにはするな  
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを  
暮しのせいにはするな  
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を  
時代のせいにはするな  
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい  
自分で守れ  
ばかものよ

『現代の詩人7 茨木のり子』より

(中央公論社)